2019 年度 病院医学教育研究助成成果報告書

報告書提出年月日	2020 年 4 月 1 日
研究・研修課題名	第13 回ISO 15189 規格解説セミナー (大阪)
研究・研修組織名 (所属)	島根大学医学部附属病院検査部
研究・研修責任者名(所属)	吉野 功 (検査部)
研究・研修実施者名(所属)	吉野 功,福間麻子(検査部)

成果区分	□学会発表 □論文掲載 □資格取得 □認定	至更新 □試験合格
	□単位取得 ☑その他の成果(セミナー参加)	
該当者名(所属)	吉野 功(島根大学医学部附属病院検査部)	
学会名(会期・場所)、認定名等	一般社団法人 RMA	
演題名・認証交付元等	第 13 回 ISO 15189 規格解説セミナー (大阪)	
取得日・認定期間等	2019 年 5 月 29 日 (水)	
診療報酬加算の有無	■加算有() □加算無

目的及び方法、成果の内容

① 目 的

IS015189 企画解説セミナーに参加し、品質マネージメントシステムについて下記の項目の理解を深める。

- ・歴史から見た品質の捉え方
- ・用語及び定義 (現在の品質の考え方)
- ・品質マネジメントシステム (QMS) とは
- ・国際規格 ISO 15189:2012 とは
- ・「認定」と「認証」の違い
- ・ISO/TC212 国内検討委員会の翻訳において 2012 年版邦訳の変更点
- ・ISO/TC212 国内検討委員会の翻訳において 2012 年版邦訳の用語の定義
- ・適用法律の例
- ・用語と定義
- ・方針及び目標を定め、その目標を達成するための仕組み
- ・4 管理上の要求事項の内容
- ・4.1 組織及び管理主体責務
- ・危機管理計画(危機管理マニュアル)の内容
- ・品質方針と品質目標 (4.1.2.3 c) と 4.1.2.4)
- ・4.2 品質マネジメント (1/5)
- 4.2.1 一般要求事項
- ・ISO 15189 規格内のプロセス
- •4.3 文書管理
- ・4.4 サービスの合意事項の確立
- ・4.5 委託検査室による検査
- ・4.6 外部からのサービス及び供給品
- ・4.7 アドバイスサービス
- 4.8 苦情
- ・4.9 不適合の識別及び管理

- ・4.9 不適合の識別及び管理
- 4.10 是正処置
- 4.11 予防処置
- 4.12 継続的改善
- ・4.13 記録の管理
- ・4.14 評価及び監査
- ・4.15 マネジメントレビュー
- 5 技術的要求事項
- ・5.2 施設及び環境条件
- ・5.3 検査室の機材, 試薬, 及び消耗品
- 5.4 検査前プロセス
- ・5.5 検査プロセス
- ・5.6 検査結果の品質の確保
- ・5.8 結果の報告 (リリース)
- 5.10 検査室情報マネジメント

② <u>方 法</u>

セミナー内容

	内容	時間
1	5.10 検査室情報マネジメント	10:00 - 11:40
	ISO 15189:2012 の概要	
	4. 管理上の要求事項 (~4.8まで)	
2	4.9 不適合の識別及び管理	12:30 - 13:50
	・4.10 是正処置	
	•4.11 予防処置, 4.12 継続的改善	
3	・4.14 評価及び監査	14:00 - 15:20
	・4.15 マネジメントレビュー	
4	・5. 技術的要求事項	15:30 - 17:00
	・5.1.5 トレーニング (教育・訓練)	
	・5.5.3 検査手順の文書化	

③ 成 果

- ・規格の要求事項を理解することができた。
 - 要求事項にあった運用を考え、規定(文書化)する(組織,職務・権限,業務分掌) 運用結果を記録し、問題事項を確認し,運用を改善する(方針,目標,組織)
- ・組織にあった運用を構築出来る能力を得た。
 - 臨床検査室は検査結果に責任を負っている。第三者の客観的な評価(認定)を受けることで、 組織を強化し、不測の事態に対するリスク管理の整備ができ、そして、従業員、ステークホルダ ーの損失リスクを軽減できます。
- ・運用を規定し、文書化で能力を得た。
- ・継続的な改善を進められる能力を得た。